

## 平成27年度 ステージⅠ（基本的力量形成期）研修 レポート

6月30日（火）栃木県学校生活協同組合会館にて、平成27年度ステージⅠ（基本的力量形成期）研修 自己マネジメント を開催しました。「研修の体系化」に基づくステージ別研修として、採用1～3年目の方を対象に、今年度は23名の方が参加しました。

はじめに、廣田会長より栃事研の概要や、「とちぎ学校事務ビジョン」についての、説明後、経験年数ごとの学校事務職員の在り方や、「成長」について。また、人との「つながり」の大切さ、学校事務職員は「個性」が発揮できる仕事であるなど、学校事務職員としての生き方についてお話がありました。

続いて檜山研修部副部長より「とちぎの研修体系」について、リーフレットを用いながら説明がありました。



今年度のステージⅠ研修は、日光市立東中学校 倉澤由佳事務長を講師とし研修を行いました。まずは、グループ内で1人2分間自己紹介を行いました。また、紹介を聞いた他のメンバーは、「素晴らしい」と思ったところをキラキラカードに記入し、カードを交換しあいました。和気あいあいと自己紹介が進む中で、緊張もほぐれ、仲間の意外な面が発見できたようです。



次の、「自己マネジメント」についての講義では、「自分を知る」ことの必要性や、実際に行動する上での4つのポイント「タスクマネジメント」「タイムマネジメント」「コラボレーションマネジメント」「コンディショニングマネジメント」について説明がありました。さらに、組織のルールを知ることやコミュニケーションを取ることの大切さ、そして学校という職場に関係する人はすべてが仲間であり、困ったときには一人で悩まず、助けてもらうことが大切である、といったお話をいただきました。講師自身の経験を交えたお話はとても分かりやすく、みなさん熱心に聞いている様子が伺えました。

その後のグループ演習では、事前課題として持参した Action シート①を基に、現在抱えている悩みや課題をグループ内で発表し合い、「課題の共有化」を行いました。自分一人で悩んでいたことが、皆同じように悩んでいることがわかり、安心感を持った方も多かったようです。「課題の共有化」を図った後は、課題を解決するための方策についても話し合いを行いました。そのヒントを得るために、各グループには採用2年目の先輩にも入っていただき、1年目の時にどんな悩みや課題を持ち、解決するためにどのような取組を行ったか等、発表していただきました。



次に、採用14年目の青木主任から体験発表をしていただきました。新採時の悩み・課題とその対処法、また現在の課題と解決に向けた取組、そして今後の目標などのお話をしていただきました。実際の経験談は共感することが多く、「児童・生徒と関わろう」「仲間を大切にしよう」「事務処理の参考になるものをどんどん利用しよう」といったアドバイスは、受講者の方々のこれからの仕事の目標にも繋がったのではないかと思います。

続いての演習では、これまでの先輩の話や、自己紹介時に作成したキラキラカードを参考にしながら、「自分の強み」や、「自分の周りにある強み」について考えました。課題の解決には、自分の強みを活かすことが必要であることを再確認しました。そして、各自の持つ課題から、5ヶ月程度で解決できそうな目標を立て「いつまでに、～を活用して、～を解決する」を念頭に解決策を考えました。各自考えた内容を、実行宣言シートに記入することで、より課題や目標等が明確になったようです。

シート作成後は、各自の課題・解決策をグループ内で発表し合い、その中から一つ選び、さらによりよい解決策になるように検討を重ねました。その後、グループごとに全体発表を行いました。

グループで解決策を考えたことで、個人では気づけなかった新しいアイデアの発見ができたようです。



まとめとして、目指す事務職員像に近づくためには、一つ一つの目標を達成していくことが必要であり、その積み重ねが事務職員のキャリア形成に繋がっていくという話がありました。

受講者のみなさんには、今回の研修で考えた課題・目標について、5ヶ月後に事後レポートを提出していただきます。課題・目標に対してどのような実践を行っていくのか、5ヶ月後にどんな変化が起きているのか、今後の取組に期待しています。